

2月28日 多様性の尊重が拓くメディアの未来

～メディアとジェンダーの国際調査 GMMP2025 から～

(ご案内)

世界およそ 100 か国の市民や研究者が参加して 5 年に 1 度行われる国際調査グローバル・メディア・モニタリング・プロジェクトの 2025 年の調査結果 (GMMP2025) がまとまりました。北京で世界女性会議が開催された 1995 年から 30 年、世界と日本のメディアの女性の取り上げ方はどのように変化したのでしょうか。北京会議では、メディアにおいては意思決定権のある地位や編集方針を決めるリーダー層に女性がきわめて少ないことが指摘されました。最近ではジェンダー宣言をする新聞社やコンテンツの多様性を自ら調査するメディアもあり、日本のメディアの女性の現在地はかつてよりは改善されたように見えますが、実態はどうでしょうか。

GMMP2025 を手がかりに、メディアにおけるジェンダーバランスや多様な視点の反映が持つ社会的な意味、メディア組織における多様性の現状や課題について研究者、ジャーナリスト、市民がともに対話の機会を持ちます。

<概要>

日時：2月28日(土) 午後13時～17時半(3部構成)

場所：早稲田大学・早稲田キャンパス11号館603教室

主催：FCTメディア・リテラシー研究所、

早稲田大学次世代ジャーナリズム・メディア研究所、NHK放送文化研究所

<内容>

司会 森本洋介(NPO法人FCTメディア・リテラシー研究所理事・弘前大学准教授)

第1部 報告：GMMP2025の最新報告から 13:00-14:00

高橋恭子(FCTGMMP日本コーディネーター、早稲田大学政治経済学術院教授)

休憩 14:00-14:10

第2部 パネルディスカッション 14:10-15:45

「ジェンダーギャップを乗り越えて～多様性の尊重が拓くメディアの未来～」

小原美和(元NHKプロデューサー/金沢放送局長)・岸田花子(民放労連前委員長/現副委員長)

休憩 15:45-16:00

第3部 ワークショップ「ジェンダーの視点でGMMPのニュース・モニタリングを体験しよう」

16:00-17:30

西村寿子・新開清子(FCTメディア・リテラシー研究所)

GMMP2025で検証・分析したニュースを使って実際にモニタリングを経験し、ニュースにおけるジェンダーバランスや多様性について参加者同士で対話します。

***本事業は、放送文化基金助成金、上野千鶴子基金助成金事業です。**

申し込み 下記の申込フォームにて2月25日までにお申し込みください。

<https://forms.gle/ZRTCpGUBPNMBS6UW8>



問い合わせ先

NPO法人FCTメディア・リテラシー研究所 info@mlpj.org